

(仮称) 仙台バイオマス発電事業に係る
工事計画等の変更について

令和2年12月

株式会社レノバ

令和2年6月26日から同年7月27日まで環境影響評価書の縦覧を行った「(仮称) 仙台バイオマス発電事業」について、以下の内容を報告する。

1 対象事業について

- ・事業者名 変更前：株式会社レノバ
変更後：合同会社杜の都バイオマスエナジー
- ・名称 (仮称) 仙台バイオマス発電事業
- ・事業の種類 電気工作物の設置の事業(木質バイオマス専焼による火力発電所の設置)

2 工事計画の変更について

①工程について

施工業者との詳細設計を進めた結果、以下の通り工程を変更する。

なお、全体工期は33ヶ月で変更なし。

- ・着工
20年12月から21年2月に変更
- ・土木建築工事
20年12月~22年11月(23ヶ月)から21年2月~23年4月(26ヶ月)に変更
- ・機械等据付工事
22年2月~23年5月(16ヶ月)から22年3月~23年5月(15ヶ月)に変更
- ・燃料保管倉庫工事
22年3月~23年3月(13ヶ月)から22年1月~23年8月(20ヶ月)に変更
- ・試運転
23年6月~23年8月(3ヶ月)から23年6月~10月(5ヶ月)に変更
- ・運転開始
23年9月から11月に変更

月数	0	6	12	18	24	30	36
年数		1		2		3	
全体工程	▼着工(2020.12) ▼着工(2021.2)					運転開始(2023.9) 運転開始(2023.11)▼	
土木建築工事		23ヶ月(2020.12-2022.11)			26ヶ月(2021.2-2023.4)		
機械等据付工事				16ヶ月(2022.2-2023.5)		15ヶ月(2022.3-2023.5)	
燃料保管倉庫工事				13ヶ月(2022.3-2023.3)		20ヶ月(2022.1-2023.8)	
試運転						3ヶ月(2023.6-8)	5ヶ月(2023.6-10)

②工事期間中の資材置き場・現場事務所としての工事用地の確保について

発電所のプラント建設にあたり、資材置き場及び現場事務所として、下図のとおり、事業計画地外の用地を確保する。

資材置場としては、発電設備(主にボイラ・発電機)、仮設材及び配管、燃料貯蔵設備の鋼材などの仮置き場として利用し、現場事務所では、施工関係者のプレハブ式仮設事務所及び駐車場、朝礼などの安全確認に際しての集会広場として利用する。

<工事用地および工事期間中の利用目的、面積等>

工事用地①(下図参照)

I. 土建工事：2020年12月～2023年4月・約5,000㎡

(ア)資材置き場 約2,000㎡

(イ)仮設事務所 約1,000㎡

(ウ)駐車場 約2,000㎡

II. プラント工事：2022年1月～2023年12月・約14,000㎡

(ア)資材置き場 約6,000㎡

(イ)仮設事務所 約3,000㎡

(ウ)駐車場 約5,000㎡

III. 燃料貯蔵設備工事：2021年11月～2023年11月・約5,000㎡

(ア)資材置き場 約2,000㎡

(イ)仮設事務所 約1,000㎡

(ウ)駐車場 約2,000㎡

工事用地②(下図参照)

I. プラント工事：2021年1月～2023年5月・約30,000㎡

(ア)資材置き場 約30,000㎡

図-1 工事用地



なお、工事関係車両の合計台数及び搬出入ルートについては、評価書時点から変更がないことから、工事資材の運搬に係る大気質、騒音、振動の予測・評価結果についても変更はない。

図-2 資材等の運搬に係る予測地点

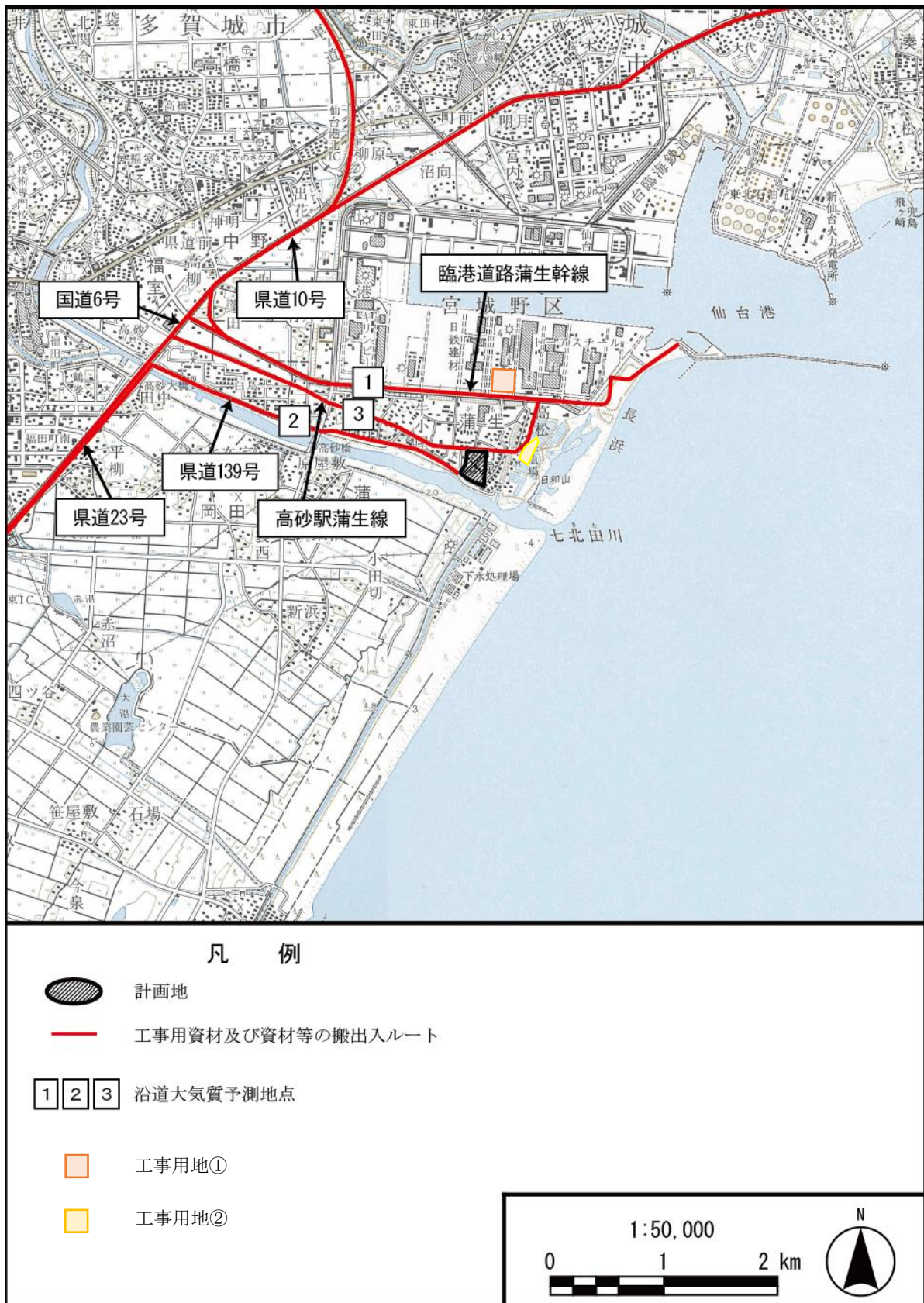


表-1 予測地点における工事中の将来交通量（工事開始後12ヶ月目）【評価書時点】

予測地点	路線名	将来交通量（台/日）								
		一般車両			工事関係車両			合計		
		小型車	大型車	合計 A	小型車	大型車	合計 B	小型車	大型車	合計 C=A+B
1	臨港道路 蒲生幹線 (4車線)	8,311	5,179	13,490	128	136	264	8,439	5,315	13,754
2	一般県道 139号 (2車線)	3,085	540	3,625	56	112	168	3,141	652	3,793
3	市道 高砂駅蒲生線 (2車線)	8,000	2,000	10,000	68	258	326	8,068	2,258	10,326

※工事中の将来交通量に変更なし